



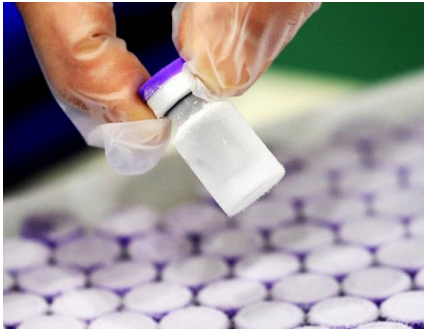
この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2021年2月14日号

編集 / 毎日新聞社販売局D・クリエーションセンター

新型コロナウイルスワクチンQ&A

16日(火)から=社会面



昨年冬以降、国内外で猛威をふるう新型コロナウイルスのワクチンは、14日にも国内で使うことを正式に認められます。17日からは医療従事者を対象とした先行接種が始まる見通しです。接種について国は「受けるよう努めなければな

らない」としており、受けるかどうかは1人1人が決める必要があります。ワクチンには予防効果がありますが、接種を受ければ絶対に感染しないというわけではなく、副反応が起きる可能性もあります。判断に役立てるため、接種する意味などの

基本的な知識をお伝えします。

【写真説明】
新型コロナウイルスワクチン会場訓練で公開されたワクチン用の容器（中身は水）=川崎市幸区で2021年1月27日撮影

特集 ワイド

コロナ後遺症を 平畑光一医師に聞く

16日(火)=夕刊特集ワイド



新型コロナウイルス感染による後遺症に苦しむ人が増えています。その症状は、倦怠感（けんたいかん）や頭痛、嗅覚・味覚障害、脱毛などさまざまですが、有効な治療法はないのが現状です。後遺症

に苦しむ多くの患者を診療してきた「ヒラハタクリニック」（東京都渋谷区）の院長、平畑光一さん（42）=写真=に現状について尋ねました。



「ファミマ」お母さん食堂」に賛否

コンビニ大手・ファミリーマートが販売する総菜シリーズ「お母さん食堂」=写真=を巡り、有志の女子高校生たちによって、インターネット上で商品名の取り下げを求め署名活動が昨年行われ

「お母さん食堂」が「お母さん食堂」を巡る「無意識の偏見」をより深刻化し「かねない」というのが主な理由です。一方で「民間企業

19日(金) 11くらしナビ面

に変更を迫るのは言葉狩りだ」といった強い反発も相次ぎました。論争の背景に何があるのかを考えました。

論点

宗教のオンライン化 19日(金)=オピニオン面



新型コロナウイルスの感染拡大で、宗教界でもオンライン化が急速に普及しました。儀式の場などでの「密」を避けるため、僧侶が法話動画を配信したり、オンラインでの法事や神事を受け付けたりと、宗教組織ごとに

工夫を凝らしします。「集う」ということに重要な意味のあった宗教の現場は、この変化とどう向き合っているのでしょうか。宗教者や識者に聞きました。

1月、今年初の発表。竹橋の窓かゝる編集後記

